

40代からの毎日を応援する大人くらし

「お座敷列車北三陸号」で「あまちゃん」の世界へGO

流行通信

久慈〜宮古間
今年も運行中

NHKの朝ドラ「あまちゃん」で全国区の人気となった三陸鉄道北リアス線。昨年人気を集めた「お座敷列車北三陸号」が、今年も運行中だ。

路線は岩手県内の久慈駅から宮古駅までで、運行日は10月30日までの土日曜・祝日および今月

ぐえいぐえい

7〜14日。お座敷（指定席料500円）と一般座席（自由席）の2両編成で、久慈駅12時13分発↓宮古駅13時54分着、宮古駅15時5分発↓久慈駅16時46分着の各日1往復運行する。

車内では、海女さんの格好をしたアテンダントが、車窓から見える景色を解説。久慈駅発の列車



うに丼だ。うにあわび弁当では、うに丼（1700円）、うにあわび弁当（1600円）、ほたて弁当（1200円）といった海鮮弁当を予約販売。いずれも、この列車

でしか食べられない味だ。予約は乗車日の1カ月前から前日13時まで。沿線地域も見どころ満載。2019年ラグビーW杯の舞台で盛り上がる釜石市は、同市のシンボル「釜石大観音」が「恋人の聖地」に認定。「日本一の海岸美」と評される北山崎（田野畑村）は、小型漁船のクルージング「サツパ船アドベン

チャーズ」（1人3500円）が爽快だ。宮古市では、プロジェクトクションマッピングを用いた映像展示などで縄文時代の遺跡を蘇らせる「崎山貝塚縄文の森ミュージアム」が先月16日にオープン。岩泉町は、国の天然記念物で、日本三大鍾乳洞のひとつの「龍泉洞」が人気だ。本紙編集局に、海女さんと三陸鉄道のキャラクター「さんてつくん」が来社した「写真」。

問い合わせは、宮古市観光港湾課 ☎0193・68・9091。

うに丼だ。うにあわび弁当だ。…右手の海の幸をゲットだぜ